

「八尾市中小企業サポートセンター事業業務」に係る質問及び回答

No.	質問項目	質問内容	回答
1	仕様書「4. サポートセンターの概要」について	業務責任者は、サポートセンターに常駐するのではなく、業務の状況に合わせて任意の日にサポートセンターで業務を行い、それ以外の開設日には八尾市担当者やコーディネーターとの連絡調整が可能な状態で配置する想定をしていますが、この配置の方法に問題はありませんか。また、事務員の配置に関しての指定がありませんが、事務員の配置は任意で、八尾市と協議の上決定することによろしいでしょうか。	業務責任者は常駐ではなくても問題ございません。ただし、業務執行体制については選定基準の一つとなっておりますので、サポートセンターの運営に支障をきたさないよう、常に連絡が可能な体制の確保をお願いします。 また、事務員の配置についても特に指定はありませんので、必要であれば配置しても問題ありません。
2	仕様書「5. 業務内容」の「(9) 創業者を含む小規模事業者を対象とした総合的な伴走支援業務」について	小規模事業者が求める課題の解決に合致し、かつ合意した支援を実施しますが、業務受託期間内にクラウドファンディングやふるさと納税制度等の活用が必要な支援案件が発生しない可能性もあります。この場合でも販路開拓の支援実施の責務は果たしたと言えると考えております。この考えに間違いが無いかお教え下さい。	クラウドファンディングやふるさと納税制度等は、あくまでも販路拡大支援の手段の一つと考えます。本事業では、小規模事業者の販路拡大支援が目的でありますので、それを達成するその他の手段にて支援を行ってください。
3	仕様書「5. 業務内容」について	データベースを活用して遂行が必要な業務があります。データベースの環境を整備し、業務に活用できる状態とするまでの準備期間はどの程度与えていただけますでしょうか。	データベースの構築・活用等の環境整備についても、サポートセンターの管理運営手法の一つと考えますので、整備に要する期間や活用手法についてご提案ください。

「八尾市中小企業サポートセンター事業業務」に係る質問及び回答

No.	質問項目	質問内容	回答
4	仕様書「5. 業務内容」の「(2) セミナー開催業務」について	<p>①開催が必要な回数の設定はありますでしょうか。</p> <p>②開催方法については、八尾市がこれまで主催開催している「八尾ものづくりカレッジ」とは異なる開催方法でのセミナーになりますでしょうか。また、他団体と共催しての開催は可能でしょうか。</p> <p>③セミナー開催における告知や案内について、受託事業者側でも最大限の努力を行います。八尾市のホームページやメールマガジン等での案内のご協力をいただくことは可能でしょうか。</p> <p>④セミナーテーマについて、市内事業者のニーズに合致していた場合は、「技術・経営の高度化」や「事業者間ネットワークの促進」以外の目的となるテーマ設定も可能でしょうか。</p>	<p>①開催回数の指定はありませんが、積極的な企画立案をお願いします。</p> <p>②本市が実施する「八尾ものづくりカレッジ」として開催しても良いですし、それ以外の方法で開催しても問題ありません。また、他団体との共催でも問題ありません。</p> <p>③セミナーの周知・広報については、本市も最大限協力しますが、受託事業者においても、独自のネットワークを活用するなど、最大限の努力をお願いします。</p> <p>④市内事業者のニーズに合致するようであれば、様々なテーマ設定は可能です。</p>
5	その他	<p>提案内容に関して、八尾市から変更の依頼が入る可能性はありますでしょうか。変更の可能性がある場合、審査結果が出る前と後のどちらに変更依頼がありますでしょうか。</p>	<p>あくまでも提案でございますので、その内容については、協議の上、変更が入る場合があります。ただし、それは、審査結果通知後にその受託候補者との協議の中で行います。</p>